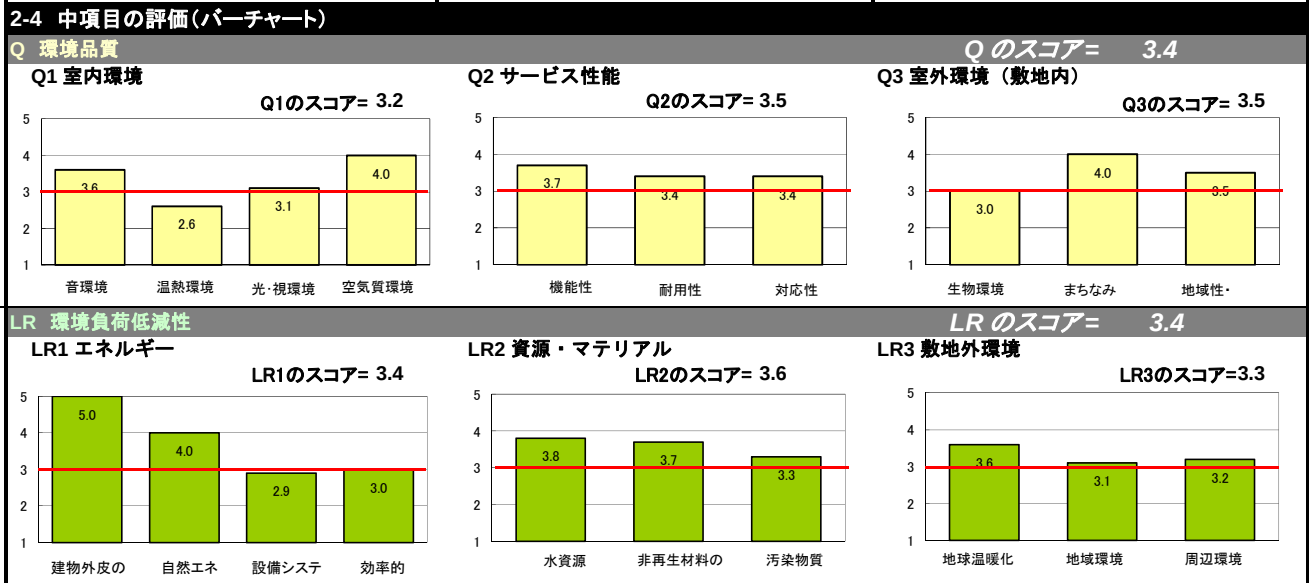
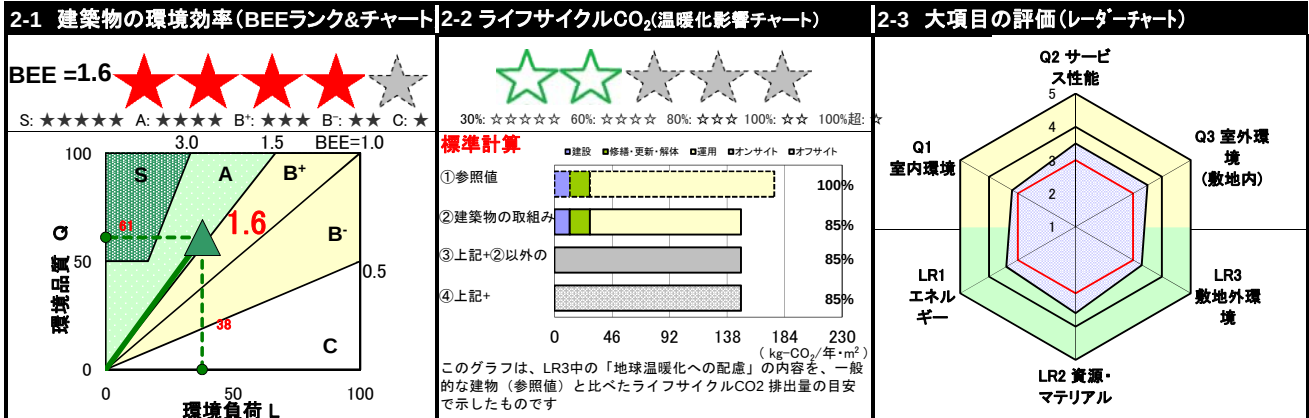


CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	倉吉病院増改築工事	階数	地上4F
建設地	鳥取県倉吉市	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域・無指定地域、防火	平均居住人員	700 人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年9月 予定	評価の実施日	2019年7月4日
敷地面積	40,558 m ²	作成者	(株)共同建築設計事務所
建築面積	1,454 m ²	確認日	
延床面積	4,442 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 周辺環境に留意し、病院利用者だけでなく地域の方々にとってもなじみやすい病院とする。 気候、風土を考慮し自然エネルギーの活用を積極的に行い、建物自体の断熱性能を高め、環境負荷の少ない建築とする。高効率な設備機器の採用や設備更新・改修を想定した配置を見込むことにより、建築のライフサイクル全体の中でのランニングコストおよびメンテナンスコストの縮減を図る。		その他
Q1 室内環境 サッシの遮音性能をT-2以上に設定し、室内の吸音率を高めることにより音環境に配慮している。また、F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	Q2 サービス性能 病室の広さを確保し、天井高を高くするなど機能性・使いやすさや心理性・快適性に配慮している。電気設備、機械・配管支持方法、通信・情報設備について、設備を保護する取り組みを行い、建物の信頼性に配慮している。	Q3 室外環境 (敷地内) 建物の配置、設備目隠しにより周囲からの見え方を考慮するなど、まちなみ・景観へ配慮している。また、施設の一部を地域に開放、中庭や光庭の計画により建物の内外を連関させる豊かな中間領域を形成するなど、地域性・快適性にも配慮している。
LR1 エネルギー 断熱材を強化し、建物の熱負荷を抑制している。光庭の計画により、積極的な自然採光利用を行っている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマや自動水栓、省水型機器を採用、雨水を再利用するなど水資源を保護している。また、リサイクル資材を積極的に採用するなど非再生性資源の使用量削減に配慮している。	LR3 敷地外環境 建物運用時のLCCO ₂ 排出量を低減し、地球温暖化へ配慮している。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制にも配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される